

## Fortune 500 の栄養、健康 およびウェルネス企業

### ハイブリッド IT モデルへの変換により、ビジネス の競争力を高める

業界をリードする、Fortune 500 の栄養、健康およびウェルネス企業が、サポートを終了した 2 箇所のデータ・センターからアプリケーションを移行する必要があったとき彼らは IT を通じて競争力を高める方法を評価するチャンスにかけました。企業はハイブリッド IT モデル（プライベート・クラウド、パブリック・クラウドおよび物理資産の混合）へ移行することが、競争力の妨げになる問題を解決するのに役立つと判断しました。

企業には上位システム・インテグレーターの専門知識があったため、クラウド・ブローカー・ソリューションの必要性を特定しました。このソリューションは、パブリック、プライベート、仮想、ホストおよびオンプレミス/オフプレミスのソリューション全体で階層計画、消費、デリバリーおよび管理をシームレスに行います。IBM® cloudMatrix ソリューションはハイブリッド IT の専用ソリューションの 1 つとして特定されました。

IBM cloudMatrix により、企業は、高額で柔軟性のない物理的データ・センター・モデルから、次世代の従量課金型モデルへと IT サービス・モデルを転換することができました。

#### データ・センターのサポート終了の戦略的評価

データ・センターのサポート終了が近づくと、それらの交換方法について決断を下す必要があり、データ・センターをクラウド資産と物理資産を混在させたハイブリッド IT への交換を選択する企業数はますます増加しています。企業は競争力を高めることの必要性を認識しています。解決する必要がある問題には、継続的なコスト、スピード、自動化の不足、チャージバックの精度、設備投資などがあります。正しい専門知識とツールを実装している限り、ハイブリッド IT はこれらの問題を解決して競争力を高めるのに役立ちます。

#### 概要

##### ニーズ

2 箇所の既存データ・センターが閉鎖され、ミッション・クリティカルなトランザクション・システムを含む、250 以上のビジネス・アプリケーション・ワークロードに新しいホスト環境を見つける必要が生じました。また、企業は IT を通じてビジネスの競争力を高める必要もありました。

##### ソリューション

企業は長期的な戦略的アプローチを採用し、上位のシステム・インテグレータで管理される IBM cloudMatrix の実装を含めたハイブリッド IT モデルを採用しました。

##### メリット

ハイブリッド IT デリバリー・モデルに素早く移行することで、この会社は事業部門にセルフサービス IT を提供してスピードと俊敏性を高め、1 日目からコストと使用料の透明性を実現し、IT サービス・デリバリー・モデルを確立することで競争力を高めました。

IBM cloudMatrix 専用ハイブリッド IT ソリューションは企業の「サービス型」モデル内の企業のモデルを統合し、制御可能な選択肢、経済、俊敏性を提供します。



---

## ソリューション・コンポーネント ソフトウェア

- IBM® cloudMatrix
- 

この Fortune 500 企業の事例では、グローバル・データ・センターの 2 箇所が閉鎖されるという通知をマネージド・ホスト・プロバイダーから受けました。閉鎖の影響により、この企業はミッション・クリティカルなトランザクション・システムを含めた、250 以上のビジネス・アプリケーション・ワークロードに新しいホスト環境を見つけることが必要となりました。

企業はこれを IT 戦略の評価を行うチャンスと捉え、自分たちの競争力を妨げる 5 つの問題に直面していることに気付きました。

1. 継続的コスト – 物理データ・センター環境内のアプリケーション・サービスの運用、維持、および拡張コスト(特に政治的および地理的境界を超えた場合)は増加し続ける。
2. スピード – サービスに対する社内およびテクノロジー・リクエストのレビューや承認に平均で 4 ~ 6 週間かかっており、事業部門のフラストレーションの原因となったり、俊敏性に欠ける場合がある。
3. 自動化の不足 – アプリケーション・サービス・リクエストの完了までにかかる手動の手順が多すぎ、要求されたテクノロジー・スキルセットに悪影響を及ぼしている。
4. チャージバックの精度 – 事業部門は使用量に関係なく IT コストに対する割合で請求される。
5. 設備投資 – 新しいデータ・センターの構築や展開と関連した多額の先行投資費用が発生している。

## IT を IBM cloudMatrix ソリューションのサプライ・チェーンとして捉える

一対一のデータ・センターを調節するのではなく、企業は長期的な戦略アプローチを選択し、ハイブリッド IT モデル平行することを決定しました。これにはプライベート・クラウド、パブリック・クラウドおよび物理資産が含まれます。企業は進んでこの新しいモデルの実装する一方、現在のシステムをまるごと置き換えるのではなく、既存のサービス管理システムと引き続き相互運用し、該当する場合はチケット管理システムと連携させる必要がありました。

企業はハイブリッド IT モデルの仕様を決断したら、サードパーティ製の大きなシステム・インテグレーターに組織を評価させ、実装する正しい変更やツールを検証させることを選択します。システム・インテグレーターと企業は、この転換の重要な点はがクラウド・ブローカー・ソリューションであることに合意しました。完全なクラウド・ブローカー・ソリューションは、パブリック、プライベート、仮想、ホストおよびオンプレミス/オフプレミスのソリューション全体でシームレスに階層計画、消費、デリバリーおよび管理を行います。

ソリューションの評価段階で、システム・インテグレーターは IIT をサプライ・チェーンとして取り扱う点において、IBM cloudMatrix ソリューションが最も完全であると判断しました。システム・インテグレーターによって管理される IBM cloudMatrix により、企業は、高額で柔軟性のない物理的データ・センター・モデルから、次世代の従量課金型モデルへと IT サービス・モデルを転換することができます。

IBM cloudMatrix は以下を提供します：

1. 業界トップ・クラスのクラウド・インフラストラクチャ・プロバイダーのシード・カタログを、カスタム統合のオーバーヘッドなしですぐに利用できます。
2. 消費者がプロバイダー・サービスを選択および比較でき、購入およびプロビジョニングが可能な独自の IT 承認サービスを追加できるマーケットプレイス。消費者は数週間単位ではなく数分単位で実行できる承認プロセスで共通ワークフローを使用できます。
3. 正確性と費用の割り当てを行うための、複数のプロバイダーを統合した請求見積もり、実績、使用量割り当てを含む報告と監視。
4. 資産 (VM) を単一のアーキテクチャー・ビューや管理標準に引き出すことができる同期・検出機能を含むビジュアル・デザイナー。
5. API フレームワークを通じ、サービス管理とチケット・システムを統合します。

### ハイブリッド IT デリバリー・モデルは事業部門の共感を呼ぶ

6 か月の間に、企業は既存のデータ・センターからハイブリッド IT (プライベート、パブリックおよび物理) デリバリー・モデルにワークロードを移すことができ、事業部門に対しては 1 日目からコストと使用量の透明性によりセルフサービスの IT を提供できるようになりました。

以前は全体的な IT 経費の割り当てに対する一般的なパーセンテージとして分類されていたコストを、仮想データ・センター、サービス/アプリケーション、および使用量ごとに確認できるようになり、「事業部門別コスト」レベルで報告および管理できるようになりました。

IBM cloudMatrix を使用することで、企業は消費者が必要なサービスにより早く、安全にアクセスできる長期的 (5 ~ 10 年) の IT サービス・モデルと、競争力のある価格と安全な IT 承認済カタログを確立できます。

## 複雑なソリューション - 単純に利用可能

クラウドはテクノロジーの様相を変貌させ、IBMはこの変換の先駆者の1つとなっています。IBM cloudMatrixは、企業が新しいハイブリッドおよびマルチ・ソース運用モデルを採用できるようサポートします。企業はIBM cloudMatrixセルフ・サービス・ストア、動的なマーケットプレイス、および継続的デリバリー・エンジンを通じて、ITサービスの消費をカスタマイズし、デリバリーを統合できます。IBM cloudMatrixを使用することで、企業IT組織は以下により画期的な成果を上げることができます。

- デリバリーにかかる時間を日単位から分単位に短縮する
- インフラストラクチャと運用コストを削減する
- 自動化された、セルフサービスの受注設計モデルで俊敏性を提供する

詳細については、

<https://ibm.biz/brokerageservices> を参照してください



© Copyright IBM Corporation 2016

IBM Corporation  
Software Group  
Route 100  
Somers, NY 10589

Produced in Japan  
May 2016

IBM、IBM ロゴ、ibm.com、および Gravitant は、世界の多く国で登録された International Business Machines Corporation の商標です。他の製品名およびサービス名等は、それぞれ IBM または各社の商標である場合があります。現時点での IBM の商標リストについては、「著作権と商標情報」([ibm.com/legal/copytrade.shtml](http://ibm.com/legal/copytrade.shtml)) をご覧ください。

本資料は最初の発行日の時点の内容であり、予告なしに変更される場合があります。当文書の情報は最初の発行日の時点で得られるものであり、IBMは予告なしに変更を加える場合があります。すべての製品、サービスが、IBM が営業を行っているすべての国において利用可能ではありません。掲載されている製品・サービスは IBM がビジネスを行っているすべての国・地域でご提供可能なわけではありません。

本資料の情報は「現状のまま」提供され、商品性、特定目的への適合性に対する保証、および非侵害の保証または条件を含め、いかなる明示的または黙示的な保証も行いません。

日本 IBM 製品は日本 IBM 所定の契約書の条項に基づき保証されます。

確実なセキュリティ体制への取り組みについて:IT システムのセキュリティでは、社内外の不適切なアクセスの防止策、検出、対応に取り組むことで、システムと情報を保護しています。不適切なアクセスにより、情報が改ざん、破壊、または不正流用される可能性があり、システムへのダメージや他者への攻撃といったシステムの悪用が生じることがあります。IT システムまたは製品によってセキュリティ対策が万全になると考えることは危険であり、1 つの製品またはセキュリティ対策で不正アクセスを完全に有効に防ぐことはできません。IBM のシステムと製品は、包括的なセキュリティ・アプローチの一部として設計されています。そのため、運用手順を追加することがどうしても必要となり、効果を最大限に高めるには、他のシステム、製品、サービスが必要になることがあります。IBM は、システムと製品が他者による悪意のある行為または不正行為から免れることを保証するものではありません。



リサイクルにご協力ください